

会場から質問：震災を経験して、地域のコミュニティを見直すという機運が広がっています。こうした動きには問題点もあるかと思うのですが、被災地での支援などを通じて、全体的にどう感じていらっしゃいますか？

小野：震災を経験し、普段から地域とつながっておくことの重要性を感じている人が多いですが、こうしたテーマは阪神・淡路大震災のときにも話題になりました。たとえば、要援護者支援制度は、まず名簿を行政で作る民生委員や自治会が、名簿に掲載されている人たちを支援する仕組みですが、制度化してしまうと民生委員だけが支援にあたればよく、住民はなにもしなくてよい、ということにもなりかねない。また、仮設住宅に入居した障害者が、スロープがないために外出できないという事例が映画にありました。私は「同じ仮設住宅の住民はあの人を助けてくれないのかな」と思いました。近隣住民との付き合いで最も大切なのは、「あの方は大丈夫かな」と思ってもらえる関係をつくることだと思います。

## 映 画 会 来 場 者 の 感 想



・避難できなくて亡くなった人がいてかわいそうでした。(障害当事者40代)

・正直、今まであまり目を向けてこなかった、災害時の障害者に対する問題を知れて、とても勉強になりました。(一般市民20代)

・すごく眠くてしょうがなかった。映画はとても難しかった。(障害当事者30代)

・初めて、障害のある人の生活を見ました。(一般市民70代)

・とてもよくわかりました。同じ障害者でも想像以上に大変だとわかりました。(一般市民10代)

・知らないことばかりで驚きました。(一般市民10代)

・障害の重さでなくて、置かれている環境が重要であるということは、まったくその通りだと感じました。地域に同じく住んでいる人同士で避難所において、厳しい事を言われた方が映し出されたが、やはりそこで話を聞いてもらえる存在が重要だと思った。(一般市民40代)

・日頃から障害者との関わりを持つことが大切だと思いました。(関係機関50代)

・健全者はどうしてノーマルでない人を排除しようとするのでしょうか？己を守る狭き心があらゆる所でモンチャクを起こします。皆で力をあわせてゆきたいと思っています。(一般市民70代)

# きゅうえん ほんぷ ぎえんきん とど 救援本部に義援金を届けてきました。



7月8日(月)、八王子市にある【東北関東大震災、障害者救援本部】を訪ね、6月の青空自由市の収益の一部(10万円)を義援金として届けてきました。そして、事務局の森さんに様々、お話しをしていただきました。

## 映画「逃げ遅れる人々」

『震災から二年半が経過し、皆さんの意識がだんだん薄れてきたんですけど、ちょうど良いタイミングで「逃げ遅れる人々」とDVDができて、あらためて震災について考えるきっかけになったのかなと思います。

やまもと なおこ てわた  
山本 奈緒子さんに手渡しました。

DVDも今まで900枚くらい売れて、上映会も把握している

だけで60回ほど開かれました。映画を見た人からは、「自分たちの防災計画に活かしていきたい」という感想も届いています。これからも多くの人にDVDを観てほしい。新しく作った改訂版DVDには、視覚障害者のための音声ガイドもつけました。』

## しょうがいしゃ こうれいしゃ ふく ちいじゆうみん たす あ 障害者、高齢者を含めた地域住民の助け合い

『当初は、建物を確保したり、そこに住むことが精一杯でなかなかフォローできなかった部分が多かったと思いますが、現在はボランティア団体や障害者団体などが集まり連絡協議会を作って、仮設住宅を回るなどの活動をしています。そして集まった声を行政に届けている。行政もそうした団体の人たちと定期的に協議をしていると聞いています。仮設住宅の中でも住民が孤独にならないように協力し合っているという話も聞きますので、お互いに声を掛け合える環境ができつつある。実際、「最近あの人見ないね」と近所で話題にのぼり、仮設住宅に行ってみると家の中で、その人が倒れていたということがあった。

映画を観てそれぞれの人が、「自分だったら災害時どうするか」ということを考えてくれるとうれしい。』

## ふくしま さがみはら き けいい 福島から相模原に来た経緯

「最初、原発事故が起こった際、被害が拡大したりしたときに、住民がいつでも来れるように、避難所として相模原にある建物を確保していて、(今回の講演会講師)小野和佳さん他数人が受け入れ準備のため、一足先に相模原に来たんですけど、「今の生活を壊したくない」という、いわき市の障害者が意外と多く、小野さんは「自分たちの働きかけが足りなかった」と反省していました。小野さんは納得の上で相模原に来て、使命感をもってしばらく住み続けると言っています。実際に震災・原発事故を経験した当事者として、私たちも映画上映会・講演会のお話があったら八割方は、小野さんをお願いしています。彼自身も「それが自分の役割だ」と思っているはずで、ほとんど毎週どこかで講演活動をしています

# 7月6日 活動発表会

今年度は午前は活動報告会、午後は映画会と講演会を西公民館地下ホールで7月6日（土）に行いました。



センター21 有山代表の挨拶（上写真左側）  
『普段行っている活動の様子を再現します。自宅では見られない通所者の様子をご覧ください。』

クマのベイカーズは毎日行っている仕事前のミーティングの様子を再現しました。



座席はご覧のとおり満席状態です。  
みんながんばれ～



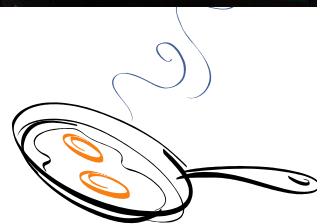
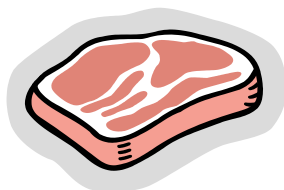
みどり荘は昨年1年間に行った行事を発表しました。

- ・7月 日帰り旅行
- ・11月 一泊旅行
- ・12月 総合防災訓練

きょうどうしゃ 協働舎レタスはイベント時のパン販売状況を再現。  
みんなで協力した結果が・・・やった～!! 完売!!  
(^o^) 売り上げも新記録 (^o^)



きゃくさま たくさん来て ぎょうれつ 行列もできました。  
うひゃ～こりゃ～大変だ～!! (右写真2枚)



だい 第2 ひまわりは昨年頑張ったこと、  
あた 新しく始めたことを報告しました。  
まず 入居者の手料理の報告です。  
いい 感じの味付けになりました。

そして お米を研いでいます。  
お米、水のバランスは大丈夫かな？